区政レポート

世田谷区議会議員

和田ひでとし通信 奥沢・九品仏地区 特別号

奥沢地区・九品仏地区の公共施設整備

老朽化・狭隘化したそれぞれのまちづくりセンターが新しくなります。地元の皆さんの新たな活動拠点として、地域包括ケアの相談窓口として期待されます。



複合施設として着工した九品仏まちづくりセンター

全体スケジュール：九品仏

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
基本構想・設計	基本構想（平成27年11月 基本構想説明会）	基本設計（平成28年8月 基本設計・中間説明会）	実施設計（基本設計説明会及び条例説明会）		
工事①（仮称）九品仏複合施設			まちづくりセンター休館 解体工事（解体工事説明会）	新築工事（新築工事説明会）	開設
工事②奥沢地区会館（九品仏まちづくりセンター仮設事務所）			改修工事（7月・8月）／まちづくりセンター休館 9月	九品仏まちづくりセンター仮設事務所	まちづくりセンター再開

全体スケジュール：奥沢

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
基本構想・設計	基本構想（基本構想説明会）	基本設計（基本設計中間説明会）実施設計（基本設計報告・説明会）			
工事 奥沢まちづくりセンター			新築工事（新築工事説明会）	開設（工事完了）	

一方で、奥沢地区（奥沢１～３丁目、東玉川１～２丁目）と九品仏地区（奥沢４～８丁目、玉川田園調布１～２丁目）については、これまでも公共施設や公園が不足している地区といわれ、特に子どもたちの大切な施設の児童館もありません（子育てひろばも奥沢４丁目での仮運営状態です）。そこで（新）奥沢まちづくりセンター完成後、**「（現）奥沢まちづくりセンターをなんとか地元の公共施設として活用できるよう残してほしい」**と皆さんから要望をいただいております（区では公共施設整備のために新たな土地を購入した場合、既存の土地は売却が原則です）。



この地区の公共施設の充実のためにも、この要望については実現できるよう区へはたらきかけてまいります。

奥沢・九品仏地区の踏み切り対策

（第１回定例会予算特別委員会補充質疑より）

都内の開かずの踏切問題の顕在化を受け、平成１６年６月に東京都が『踏切対策基本方針』を策定してから、１８年あまりが経過しました。
区内では、小田急線・京王線については着々と対策が進められているものの、大井町線については基本方針に位置づけられていても事業化の目途はなかなか見えてこない状況のようです。

質疑　和田ひでとし

引き続き、玉川地域の重要な路線である大井町線での開かずの踏切対策にしっかり取り組んでいただきたいと思います。区の見解を伺います。

答弁　道路・交通政策部長

大井町線については、京王線同様、基本方針においては「鉄道立体化の検討対象区間」に位置づけられており、地元の皆様にも立体化に向けた沿線の街づくりについてご検討いただいているところですが、現時点では事業化の目途は立っておりません。



連日踏切で待たされる車や歩行者（自由通りの奥沢１号踏切）

一方で基本方針においては、「鉄道立体化以外の対策の検討対象区間」として、目黒線の奥沢駅付近が位置づけられております。開かずの踏切の抜本的な解消はやはり鉄道の立体化だと思います。



質疑　和田ひでとし

立体化の対象区間である大井町線ですら、目途が見えてない中、区内の目黒線について、立体化される計画はあるのかお聞きします。

答弁　道路・交通政策部長

目黒線の奥沢駅から田園調布駅までの区間については、委員ご指摘のとおり、基本方針において、立体化以外の対策の検討区間とされており、現在のところ立体化される計画等はございません。

裏面へつづく

表面からのつづき

また、この区間にある奥沢駅前の１号踏切は、基本方針において重点踏切と位置づけられており、朝の通勤時、踏み切り遮断によって、電車に乗り遅れるといった状況が連日発生しております。



質疑　和田ひでとし

目黒線のこの区間の中でも、最も歩行者や交通量の多い、奥沢駅前の開かずの踏切対策に関して、今後の見通しをお聞かせください。

答弁　道路・交通政策部長

奥沢１号踏切の対策に関しましては、更なる改善に向け、東急電鉄、道路管理者である東京都など関係機関との調整・検討を進め、早期に実現できるよう取り組んでまいります。

立体化実現までにはまだ相当の期間を要するとはいえ、現状をこのままでというわけにはいきません。東横線・大井町線・目黒線の踏み切り対策については、地元の皆さんからも様々なお声をいただいております。これからも引き続き区や事業者にしっかりとはたらきかけてまいります。

東玉川１丁目に保育園開園



開園が遅れていましたが、東玉川で初めての認可保育園「グリーンホーム東玉川保育園」が４月にオープンしました。定員６０名の認可保育園は静かな住宅街の中の保育園としていくつかの課題がありましたが、**中庭を囲む造りで、部屋は天窓からの採光や換気等、周辺の住宅の皆さんへの影響を最小限にと、様々な工夫**がされています。


中庭


中庭（２階から）


中庭（夜景）


エントランス


１階保育室


２階保育室

これからは送迎時の安全対策など保育園と地元の皆さんがより良い関係となり、新たな絆ができるよう、町会の皆さんとともに応援してまいります。

玉川総合支所・区民会館改築状況

昨年秋より始まりました解体工事。
地上部分はほぼ終了し、等々力駅前の広大な敷地に改めておどろかされます。工事スケジュールはほぼ予定通りにすすんでおり、人口約２２万人が暮らす玉川地域の重要な拠点として、２年後の竣工が待たれます。



すっかり更地になった等々力駅前の玉川総合支所

現在は、大井町線線路側の基礎擁壁補強工事（線路に工事の影響がないように）を進めており、その後地下部分の解体となります。

近隣区の銭湯が利用可能になりました

区内でも減少の一途をたどっている銭湯は、高齢者の皆さんの健康維持の面や交流の場としても大変貴重な存在でもありましたが、奥沢地区・九品仏地区からもいよいよ銭湯がなくなってしまいました（一部長期休業中）。区の入浴券を持っていても区内の銭湯でしか使えず、近隣の目黒区・大田区にある銭湯では使えませんでした。



戦前から営業していたつばめ湯も長期休業中となりました

しかし、ようやく平成３０年度からは、**手続きをすれば奥沢・東玉川・玉川田園調布の皆さんは指定の近隣区の銭湯で入浴券の利用が可能**となりました。今後もさらに近隣区の銭湯が利用できるよう要望してまいります。

今回は私の地元の皆様に「地区の特別号」として、奥沢・九品仏地区での関連する話題を掲載させていただきました。
様々な課題がありますが、現場のお声をいただきながら、引き続き地域密着の区政運営に務めてまいります。



発行　世田谷区議会議員 和田ひでとし　〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 1-40-2
TEL 03-3720-3542　FAX 03-3720-6928　EMAIL info@wadahidetoshi.com